

輝くとちぎをリードする 人材育成地元定着推進事業

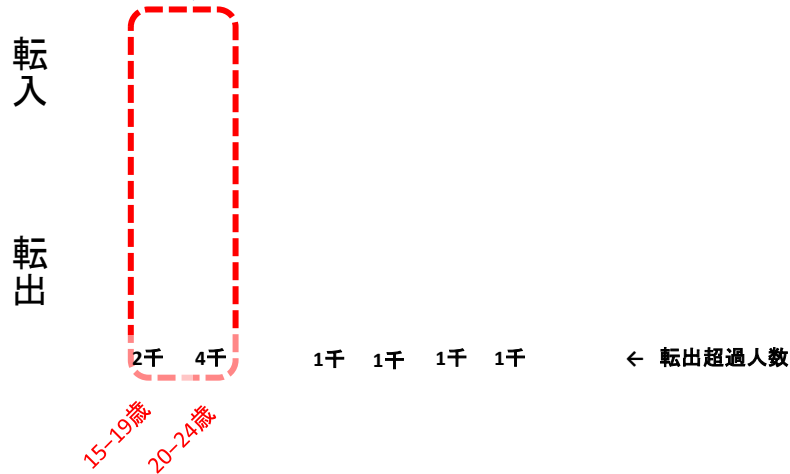
説明資料

1. 栃木県の課題と分析
2. 栃木県の政策と大学の連携
3. 栃木県の課題と事業目標、施策
4. 宇都宮大学における地域貢献や教育分野での実績
5. 事業計画全体像
6. 入り口施策
7. 育成施策
8. 出口施策
9. 事業計画のまとめ

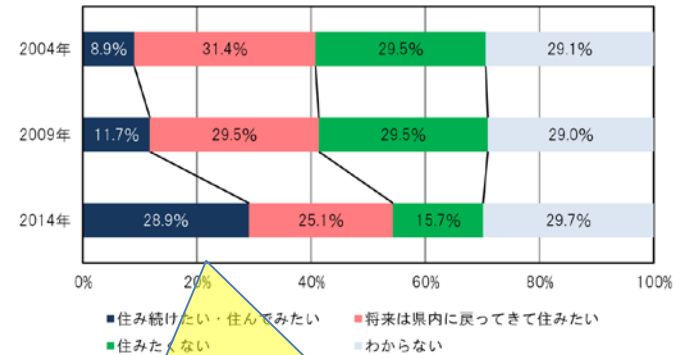
COC+大学	宇都宮大学
COC+参加大学	小山工業高等専門学校、帝京大学、東京農工大学、芝浦工業大学、人間総合科学大学、十文字学園女子大学
参加自治体	栃木県
参加企業等	公益社団法人栃木県経済同友会、一般社団法人栃木県経営者協会、公益財団法人栃木県産業振興センター、一般社団法人栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会、一般社団法人栃木県食品産業協会、栃木県中小企業団体中央会、栃木県農業協同組合中央会、公益財団法人栃木県農業振興公社、全国農業協同組合連合会栃木県本部、一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会、株式会社足利銀行、株式会社栃木銀行、栃木県産業協議会

栃木県の課題と分析

15～24歳による東京圏への転出超過：
大学等への進学や大学卒業後の就職が契機



資料：総合政策部総合政策課集計（H27.1）年齢階級別国内転出先別社会動態（2009-2013）



資料：栃木県「これからのとちぎづくりに関する若者意向調査」 高校生の県内居住意向

しかし、栃木県の最近の若者（高校生）は
「県内居住」を望んでいる

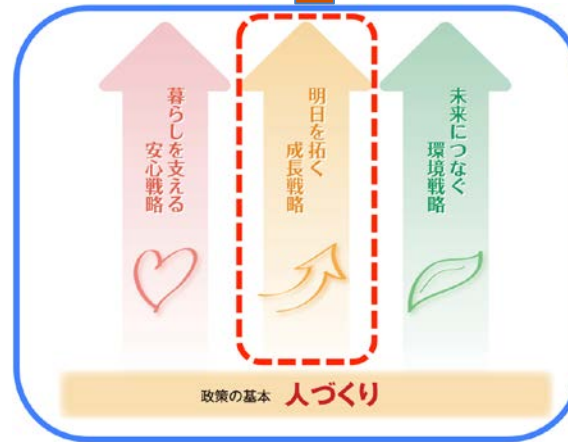
要因：東京圏の魅力の強さ、言い換えれば、栃木の魅力・実力の伝達・周知不足
例：栃木県の住みよさランキングは常に全国上位、産業基盤も充実、しかし認知度は低い

とちぎの魅力を発信することと、魅力ある雇用の創出・確保の必要性

栃木県の政策と大学の連携

新とちぎ元気プラン 明日を拓く成長戦略

「安心」「成長」「環境」をともにつくる
元気度 日本一 栃木県



優れた技術を持つ中小企業の集積や
力強い農業などを活かした産業振興策
製造業の比重が高い「ものづくり県」として成長

- ・パワーアップとちぎ(ものづくり県とちぎ)
- ・フードバレーとちぎ

- ・観光立県とちぎづくり
- ・個性輝くとちぎの地域づくり

フードバレーとちぎ

ものづくり県とちぎ

宇都宮大学が開発した特殊容器で
栃木県産完熟イチゴを輸送

↓
国際味覚審査機構 (iTQi) の
優秀味覚賞2 Gold Stars獲得



とちぎフードイノベーション戦略推進地域に指定
地域イノベーション戦略支援プログラムに採択

5大産業協議会

- ・とちぎ自動車産業振興協議会
- ・とちぎ航空宇宙産業振興協議会
- ・とちぎ医療機器産業振興協議会
- ・とちぎ環境産業振興協議会
- ・とちぎ光産業振興協議会



宇都宮大学オプティクス教育研究センター
産学官連携光融合技術イノベーションセンター

栃木県の課題と事業目標、施策

栃木県の課題

- ✓ 若者は県内居住を希望
- ✓ 大学進学・大学卒業を契機に東京圏への転出超過
- ✓ 本学は栃木県政策「新とちぎ元気プラン」に貢献

本事業の目標

大学・高専、栃木県、地元企業・団体と連携し、政策プランを推進するなどして、若者層の地元就職者数の増加を図り、人口構造の若返りによる地域創生を進める

本事業における課題解決施策

宇都宮大が地（知）の拠点となるCOC+事業

- ✓ 地元高校生の受け皿となり、大学進学時の転出減を図る
- ✓ とちぎを知り、とちぎに貢献できる若い人材育成を行う
- ✓ 魅力的な雇用体制の整備、就職受け入れ体制を強化する

宇都宮大学における地域貢献や教育分野での実績

大学全体の目標：新たな地域社会の変革を担う

3C(Challenge・Change・Contribution)精神、行動的知性を有する
人材育成

- ✓ 全国大学の地域貢献度ランキング(日経グローバル) 4年連続3位以内
- ✓ 教育学部の教員就職率が東日本1位(文科省調べ)
- ✓ 農学部就職率は首都圏の理系国立大学でトップ(東洋経済ONLINE・2013)
- ✓ 基盤教育英語プログラム(EPUU)が平成25年度大学英語教育学会賞(実践賞)を受賞

平成28年度より、地域デザイン科学部を新設

魅力ある地域をつくる「地域デザイン能力」と文理融合した「社会に役立つ能力」
を備えた人材育成

COC+大学として栃木県と周辺地域の創生に責任を果たす

事業計画全体像

輝くとちぎをリードする人材育成地元定着推進事業

栃木県の産業の更なる振興

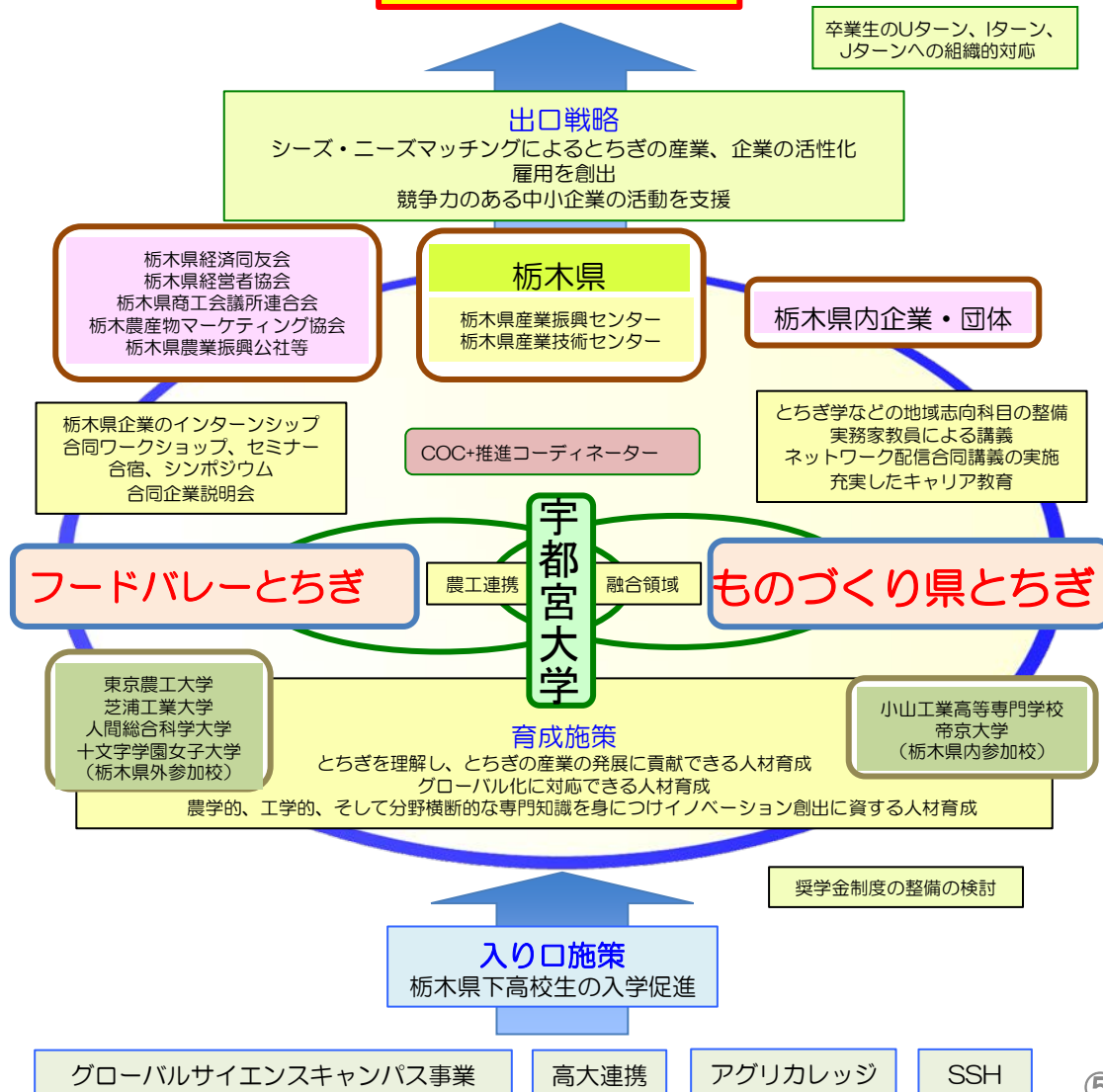
人材の地元定着推進

卒業生のUターン、Iターン、Jターンへの組織的対応

出口施策

育成施策

入り口施策



入り口施策

高大連携事業と連動した**県内優秀人材の入学促進**

十年以上の地盤

宇都宮大独自の**高大連携ネットワーク**
(毎年900名近い高校生が宇大で実験)

たとえば、2014年度
SSH(98名)、各種高校生向け講座(753名)

H27
|
H31
新事業

JST次世代人材育成事業・グローバルサイエンスキャンパス



基盤プラン60名(1次選抜)→才能育成プラン10名(2次選抜)→授業料免除など

H27 基盤プラン(第1期:30名)への応募者80名超

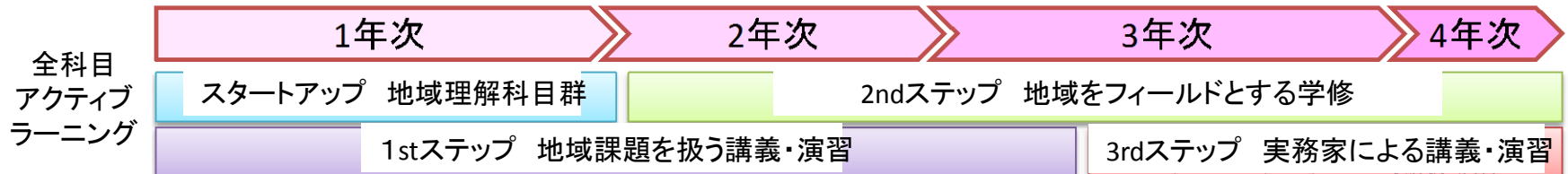
育成施策

これまでの実績のあるキャリア教育に加えて

- ・**とちぎの魅力・情報を積極的に提供する**教育プログラムの提供
- ・とちぎ学プログラム修了証の授与
- ・**とちぎを理解し、とちぎに貢献できる**人材を育成
- ・農工融合イノベーションおよびグローバル化に対応

輝くとちぎをリードする人材育成地元定着推進事業カリキュラムマップ

ねらい：地域をフィールドとする徹底した課題解決型学修による地域理解力と課題発見・解決能力の修得



授業科目例

- ✓ スタートアップ：とちぎ学総論（基盤教育・全学必須）
- ✓ 1stステップ：地域学・とちぎ学（副専攻プログラム“Learning+1”）
- ✓ 2ndステップ：地域フィールド実習・地元インターンシップの拡充
- ✓ 3rdステップ：地元プロフェッショナル（実務家教員）による講義・演習

事業参加校協働プログラム

- ✓ ネットワーク配信合同講義：「とちぎのプロが語る」ビデオ教材化
- ✓ 合同講義・演習・合宿：「とちぎキャリア合宿」など

育成施策

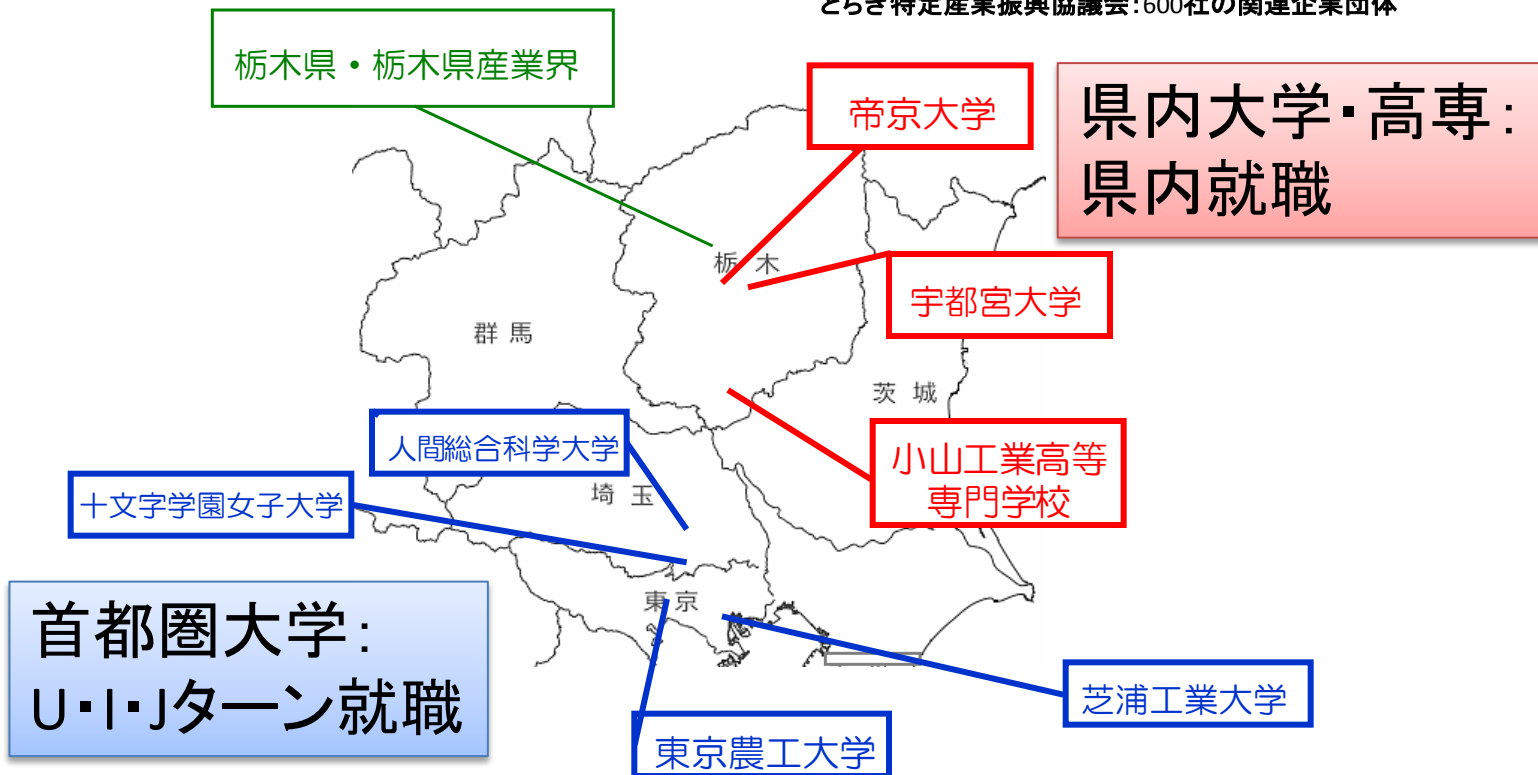
- ・事業協働機関が参加する合同の講義や演習（ネットワーク配信）、とちぎキャリア合宿、ワークショップ、セミナー、シンポジウムの開催
- ・地元自治体、産業界、団体からの実務家教員の派遣

宇都宮大学とCOC+参加校とのこれまでの連携実績

小山工業高等専門学校：交流・連携・推薦入学に関する協定、体験学習
 帝京大学理工学部：とちぎサイエンスらいおんプロジェクト
 東京農工大学：連合大学院、野生動物管理に関する包括連携協定
 人間総合科学大学：農場における共同利用拠点形成事業参加校
 芝浦工業大学：工学分野の栃木県進学実績

宇都宮大学と栃木県、企業などとのこれまでの連携実績

地域イノベーション戦略推進地域やとちぎフードイノベーション戦略推進地域に選定
 地域イノベーション戦略支援プログラムに採択
 光融合技術イノベーションセンターの設置
 宇都宮大学主催の産学交流振興会会員：80 法人・団体
 フードバレーとちぎ推進協議会：700 社の関連企業団体
 とちぎ特定産業振興協議会：600社の関連企業団体



講義・キャリア教育の連携

出口施策

オールとちぎ産官学金連携の“雇用イノベーション”

県内企業2,000社以上をリスト化・情報ネットワーク化

栃木県産業振興センター
栃木県産業技術センター
栃木県経済同友会
栃木県経営者協会
栃木県商工会議所連合会
栃木県商工会連合会
栃木県食品産業協会

栃木県中小企業団体中央会
栃木県農業協同組合中央会
栃木県農業振興公社
JA農協栃木県本部
栃木農産物マーケティング協会
株式会社足利銀行
株式会社栃木銀行
栃木県産業協議会

- 大学・高専との産学連携・共同研究により産業基盤を発展させ、地元雇用を創出
- 実務家教員の派遣
- 奨学金制度の整備
- Uターン、Iターン、Jターンの受け入れ体制の組織化

事業計画のまとめ

入口

優秀人材の入学促進

育成

宇都宮大(COC+)

- ◇とちぎに貢献できる人材
- ◇農工融合イノベーション人材
- ◇グローバル対応人材

出口

県内企業2,000社以上が協力する雇用体制

新しく輝くとちぎへの変貌

人口構造の若返り・地域創生

教育・研究への貢献

講義・キャリア教育の連携

県内大学・高専

東京圏大学

県内産業の
更なる振興

県内企業の
活性化・安定化

若い人材の
県内定着

県内就職

県内就職

I・U・J
ターン